

うちこ福祉館だより



令和2年
7月発行
電話・FAX
44-3410

運営審議会

五月二十八日(木)、うちこ福祉館運営審議会を開催し、昨年度の事業実施報告や今年度の事業計画(案)について十三名の委員さんに熱心に審議していただき、全て承認されました。

概ね、例年通りの計画を立てているものの、新型コロナウイルス感染症対策として、多くの事業で従来とは異なる工夫の必要性が予想されるため、職員一丸となって館の運営を行うよう、激励のご意見もいただきました。



3密回避のため2階ホールで開催

福祉館利用再開

五月二十五日(月)より福祉館の利用を再開しました。毎日、来館者の皆さんとお会いする日常が戻りつつあります。

マスク着用で表情は分かりづらい中でも、「おはよう」「外は暑いぜ」「気を付けて帰ってや」と、短い挨拶を交わしたり、言葉ではなく手を振ったり、会釈したり、互いに気持ちのキャッチボールができる状況になったことを、とても嬉しく、ありがたいと感じています。

水分補給以外の飲食の禁止と、生活改善室(調理室)の利用中止は継続しています。また、館内でのマスク着用と事前の検温および体調チェック表への記入など、お願い事項も増えております。ご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いいたします。

機能回復訓練室につきましては、利用を午後四時まで制限していましたが、六月二十二日(月)より、従来通りの午後五時までの利用としました。引き続き、滞在時間は概ね一時間とし、運動器具の数を減らしています。

更に、玄関では使用前・使用後のスリッパの置き場所を分けるなど、感染防止対策を行って開館していきますので、ぜひお越しください。



高温や多湿でのマスク着用は熱中症のリスクが高くなるおそれがあります。屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合には、マスクをはずしましょう。マスク着用時は、こまめに水分補給を心がけましょう。

健康相談

体調管理は大切です!



六月十一日(木)・十二日(金)町保健センターより保健師さんに来ていただき、健康相談を行いました。

館利用者の方や、同日に開催した健康体操楽々フィットネスの参加者の方など、問診や血圧測定、自身の体調などについて相談されていました。皆さん、順番を待たれる際には間隔を空けて座っていただくなど、安全に行うことができました。

当初の予定から日程を変更しての開催となりましたが、快く応じていただいた保健師の皆さん、ありがとうございました。

町人権・同和教育 担当者会

内子町人権・同和教育担当者会は、町内の小・中学校、幼稚園と保育園は代表園、内子高校と小田分校から各校の人権・同和教育の担当教諭、行政の人権対策および人権教育の各所管課、人権対策協議会、学識経験者、両福祉館で構成されています。

六月二十三日（火）に第二回の担当者会が開催され、うちこ福祉館からも館長と職員の名が参加しました。

そのなかで、「人のためより自分のために学ぶ」「学ぶほどに自分のためになると考える学習ができたら」という言葉が心に残りました。「自分が生きやすい社会にしたい。自分のためにも、同和問題ほか様々な人権問題について正しく学びたい」と考えることができれば、より一層の意欲的な学び、更には人権意識を高めることにも繋がるのではないかと感じました。



彩り鮮やかな季節

マリーゴールドの花が咲き誇っています。福祉館の建物は白壁のため、色鮮やかな花が一層引き立つように感じられます。そして今年も、緑のカーテンが成長中です。上へ上へと伸びてゆくゴーヤをぜひ見に来てください。



撮影：6月16日（火）

撮影：6月26日（金）



3密



回避しよう！

新型コロナ対策の基本となる感染回避行動を、あらゆる場面で実践されることが、感染予防と社会経済活動の両立に繋がります。

新型コロナに正しく向き合い、正しく恐れ、正しく行動することを心掛けましょう。

- 「感染回避行動」 1つ、うつらないよう自己防衛！
- 2つ、うつさないよう周りに配慮！
- 3つ、習慣化しよう3密回避！

（令和2年6月18日 愛媛県知事メッセージより抜粋）

新型コロナウイルス感染症に関連して 不当な差別や偏見をなくしましょう

新型コロナウイルス感染症に関連して、感染者・濃厚接触者・医療従事者等に対する誤解や偏見に基づく差別を行うことは許されません。

公的機関の提供する正確な情報を入手し、冷静な行動に努めましょう。